

柏市立西原中学校第3学年
令和5年5月23日(火)

進路だより 第3号

マイルストーン
道標



アクション プロセス
◎進路選択にむけた活動と過程

前号では、進路選択にむけて、必要な心構えや予定を把握すること、夢をもつことの大切さを語りました。ところで、進路の道を「選ぶ(望む)」ことと「決める(掴む)」ことの間には、大きな隔りがあります。進路選択から始まり進路決定に至るまでに、どのような活動と過程が必要なのでしょう。

(0) 学び続ける覚悟

まずは大前提として、中学校を卒業し、上級学校に進学するにしろ就職するにしろ、どのような進路を選択しようと、生きていく上では「学び続ける」姿勢をもたなければなりません。厳しい言い方ですが、「勉強が嫌いでやりたくない」、「勉強なんてやる意味ない」という発言をする時点で、進学を希望する意味がありません。それは就職を希望する人にとっても同じです。

「〇〇高校に行きたい」や「〇〇になりたい」の前に、大前提として「学び続ける覚悟があるか」そのための「努力をする覚悟はあるか」ということを自分自身に問うてください。

(1) 自己分析

将来に向けて自分のやりたいこと、夢や目標とは何か、自分とはどのような人間なのかを見つめ直す、つまり「自己分析」をする必要があります。具体的に、以下のことを考えてみましょう。

○ **夢と目標**：

どこの学校に行きたいということだけではなく、その先の人生においてどのような職に就いて働きたい、どのように生きていきたいかという夢や目標をもちましょう。それが全ての活動の動機になり、原動力になるはず。



○ **得意なこと苦手なこと**：

得意なことはすなわち自分の強みであり自信にもなり、面接のときなど自己のPRにもつながります。同時に、自分の苦手なこと(弱点)について把握しておくことも大切です。自身の弱みに向き合うことは決してネガティブな思考ではありません。むしろ、それを知っているからこそ、前もって失敗を予測できるし、失敗しないための準備や対処法を身につけることができるものです。

○ **興味・関心**：

自分の好きなことは言い換えれば「学びたいこと」です。娯楽としての趣味だけではなく、学ぶ意欲としての興味・関心のあることを突き詰めていく姿勢をもちましょう。

○ **性格と適性**：

1年生のとき職業適性の診断をしたことを覚えていますか？(「総合」のファイルに綴じてあるはず)自分の夢に描いている職業の適性や資質が自分の性格と適合しているでしょうか。

○ **能力**：

学力(成績や確認テストの結果)、実績(部活や習い事)、経験値(どんな活動や挑戦をしたことがあるか、どんな役職を務めたことがあるか)など、自分の「積み重ねてきた**キャリア**成果」を挙げてみましょう。

裏面に続く

また、「自分から見た自分の人物像」と「他人から見られている自分の人物像」には差があるものです。つまり、自分のことを知りたかったら自己分析だけではなく、他人からの客観的な分析も必要になるのです。進路のことを考える機会に、「私ってどんな人間？」と、家族や友人と話し合ってみると良いでしょう。

(2) 情報収集

中学卒業後、実際にどのような選択肢があるかを把握しなくてはなりません。その中から、自分の理想と合致する道を主体的に模索しなければなりません。当然行きたいと思った道の全てに進めるわけではありません。例えば、上級学校に進学する場合は学力面、経済面、教育課程（学校の方針）、通学にかかる時間など、その学校の進路状況などの「情報収集」をしながら、現実とのすり合わせが必要になります。学校のHPやパンフレットなどの情報源はたくさんありますが、一番大切な情報収集は「学校説明会」や「体験入学」に参加することです。自分の足と目と耳を使って、直接現地調査をすることが最適な学校理解になります。目標となる学校が見つければ、学習意欲の向上にもつながりますね。

(3) 自己修練

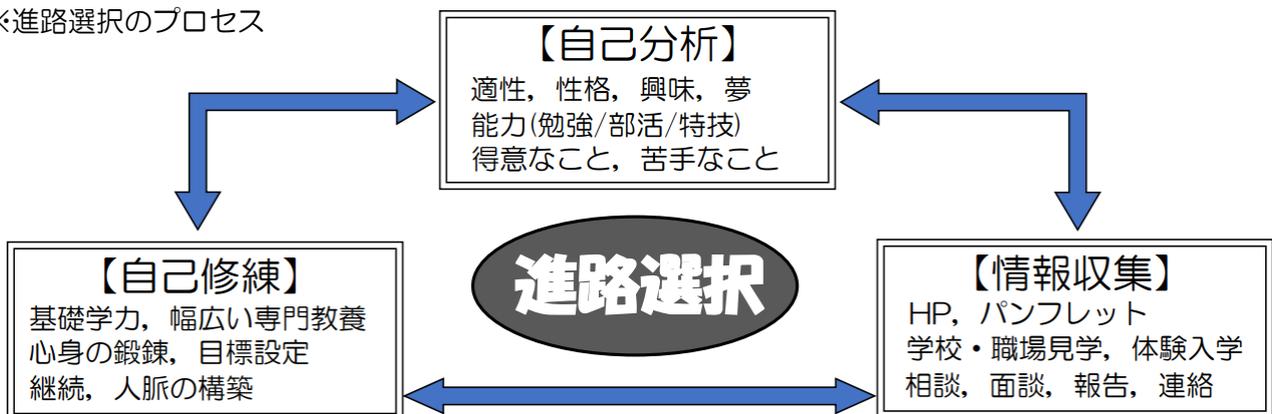
目標が見定まったら、それを達成するために何が必要か考え、行動する「自己修練」を続けなければなりません。

第一に励まなければならないのが「学業」です。普段の授業を主体的に一生懸命に取り組むことはもちろんです。そして1・2年次の既習事項の基礎的な学力を固め、幅広い専門的な知識を身につけ、実践力をつけるために演習問題にも積極的に挑戦していきましょう。当然のことながら、勉強時間も一層増やしていく必要があります。資格や検定の取得に挑戦することも良い取り組みでしょう。

また、受験は体力勝負という言葉もあります。高い目標を達成するための努力を続けるには逞しい心と身体が必要です。規則正しい生活や食事、体調管理、適度な運動などにも取り組み、心身を鍛えていきましょう。部活をやっている人は、是非最後の総体までは全力で取り組んでください。

来年の入試を見据え、日程から逆算をし、計画的に自己を鍛え、磨き、向上に励んでください。これが、自分の将来に続く、厳しく険しい「自己修練」の道です。

※進路選択のプロセス



「学び続ける覚悟」という土台のもと、中学校生活最後の1年間で、この「自己分析」「情報収集」「自己修練」のサイクルを回すことで、進路選択そして進路決定につなげていってほしいと思います。

さあ、勝負のときは始まっているのです。覚悟の一步を踏み出しましょう。